1）テーマ　　『ヘルスプロモーションの考え方を基盤にカリキュラムを構築』

2）カテゴリー　①教育課程

3）学校概要　　学校名：専門学校 ベルランド看護助産大学校　所在地：大阪府堺市中区東山 500-3

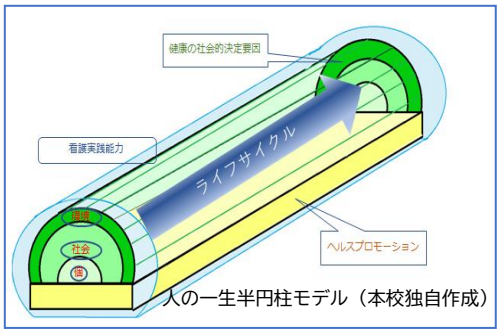
課程名：３年課程　１学年定員数：80 名　　修業年限：４年

卒業後資格：高度専門士

4）内容　　カリキュラム構築の考え方

本校の設立母体は、誕生から死にいたる人々を支える施設―病院・介護老人保健施設・特別養護老人ホーム・複合型施設・複合型医療福祉施設・訪問看護ステーション・認定こども園・不妊専門クリニック―を有しており、地域包括ケアの視点を育成するトータルヘルスケアシステムを活用した看護教育を実施できる強みを活かしたカリキュラムを構築した。

あらゆる場で生活するあらゆる年代の個人・家族および集団（コミュニティ）を対象とし、その対象がどのような健康状態であっても自らの健康の社会的決定要因をコントロールし、その人らしく健康状態を維持・改善し QOL を高めていく過程と理解し、人の一生を捉えて支援できる基礎的能力を身につける看護師を育成することが、2025 年に向け、地域で生活する人々との暮らしを守るために保健・医療・福祉をつなぐ看護実践ができる看護師を輩出することに繋がると考えた。



人の一生半円柱モデル（本校独自作成）

細胞・遺伝子等の個体の状態やライフスタイル・社会環境による健康の社会決定要因により、人の一生（ライフサイクル）と健康状態は変化している（右図参照）。連続的・流動的に変化する健康状態であらゆる場で生活している「ひと」を理解し、必要なケアを提供することで、その人の健康状態を維持改善し QOL 向上を支援することを看護の目的とし、ヘルスプロモーションの考え方を基盤にしたカリキュラムを構築した。

各看護学の単位対比表

分野・内容			基礎分野	専門基礎分野	基礎	地域在宅	成人	老年	小児	母性	精神	統合	キャリア
ヘルスプロモーションの基本となるもの	人を知る		3.0	6.0			0.7	0.7	0.9	0.5	0.2		
	ヘルスプロモーションの基本となるもの基盤			1.0	1.5	0.5	0.6	0.6	0.4	0.6	0.8		
	ヘルスプロモーションを支える技術				10								
ヘルスプロモーションの５つの活動	ヘルスサービスの方向転換	病とともに生きる		16									
		健康増進・予防的保健行動				1.0	0.6	0.4	0.3	2.7			
		病気回避行動				0.4	0.4	1.4	0.4		0.4		
		病気対処行動				2.6	6.1	2.8	3.4	0.2	2.9		
		最善の生を支える					1.5	1.1	0.4				
	個人技術の開発		6.0		1.0								
	地域活動の強化		2.0	1.0		2.0						1.0	
	健康的な公共政策づくり			3.0									
	健康を支援する環境づくり		4.0	2.0		1.0						1.0	
キャリア支援			5.0									8.0	6.0
臨地実習					3.0	2.8	4.5	4.6	2.0	2.0	2.1	4.0	2.0

今回、ヘルスプロモーションを基盤にしたカリキュラムを構築できたのは、学校の財産である教員の叡智の結晶であるといえる。(1)ヘルスプロモーションの理解を深める、(2)健康の社会的決定要因により変化するあらゆるライフサイクル・生活の場、健康状態にある対象理解の視点を明確にする、(3)各看護学の特徴を踏まえた横断科目の教育内容を精選する、(4)シミュレーション（ICT活用能力）を生かした教育方法を共有する、(5)各看護学横断実習のフィールドを選択し調整を図る、(6)看護師キャリア育成につながる科目を検討し創設するために、教員一人一人の経験を生かしたアイデアを具現化してきたからである。検討のプロセスにおいては、各看護学が大切にしたい教育内容を強調している段階は領域の縦割りとなっており、地域で生活しているあらゆる対象の状況を理解させたいという願いに何度も立ち返り、領域を横断した教育内容の選択と教授方法について検討することができた。ヘルスプロモーションの考え方を基にしたカリキュラム構成は、学習目的を明確にしながら履修進度を整理することができ学生にとっても効果的であると考える。

今後は、カリキュラムを実践し、学生の成長を支援できるよう教育評価の視点にも教員の教育実践能力を発揮できるよう協働していきたい。